令和８年度長野県公立高等学校入学者選抜における実施内容一覧

１　全日制課程

（表の見方）
1　「募集」欄は令和７年度(2025年度)入学者選抜の募集学級数です。令和８年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
2　前期選抜の募集枠%の数字は募集人員の上限を表しています。
3　第２志望欄の〇印がついている学科間においては第２志望（学校により第３志望まで）を認めます。（別紙「第２志望及び第３志望の取扱い一覧」参照）
4　傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
5　再募集欄は前期選抜及び後期選抜において、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
6　｝は、くくり募集をする学科です。
7　空欄になっている箇所については実施しません。
8　前期選抜及び後期選抜では学力検査を実施します。
9　小論文Ａは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Ｂは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
10　再募集の志願理由書から実技検査欄については、後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は〇印がついています。

前期選抜・後期選抜・再募集

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）							後期選抜（一般選抜）							再募集					
				募集枠%	募集の観点	志願理由書	面　接	作　文（小論文）	実技検査	志願理由書	面接方法	面　接	作文	実技検査	傾斜配点	第２志望	志願理由書	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第２志望
57	高　　遠	普　通	2	60	次の２点をいずれも満たす者。 ・基本的な生活習慣（授業への取り組みが良好であり、生活のきまりが守れることなど）が身についており、基礎的な学力があること。 ・入学後は自ら選択したコースで探究的に学び、明確な目的をもって主体的に高校生活を送る意思がある者。	本校所定の書式に従って、以下の①②について記入して提出する。 ① 中学校での活動 ・生徒会活動、学級活動 ・部活動 ・その他特筆すべき実績(ボランティア活動、資格・検定など) ② 志願する動機・理由と将来への抱負について ・コース（専攻）を志願した動機や理由 ・高校でやってみたいこと（学習したいこと、興味・関心のあること等） ・将来（高校卒業後）への抱負、夢など	志願理由書に書かれた志望動機、コースへの関心度及び中学校における学習等諸活動の様子、将来の希望などを聞く。（15分程度の個人面接） なお、芸術文化コースにおいては、各専攻への意欲・関心を見るために、３分程度の自己表現をする時間を含みます。 【自己表現の内容】 ・音楽専攻…『早春賦』『花』『浜辺の歌』から１曲を選び１番を無伴奏で独唱する。 ・美術専攻…『紙コップ』を時間内にできるところまでデッサンする。 ・書道専攻…漢字で『木立』の２字を半紙に行書で書く。					対面	志望動機、入学後の抱負、将来の進路、中学校生活について聞く。 ＜10～15分の個人面接＞						○				

令和８年度長野県公立高等学校前期選抜における評価方法一覧

１　全日制課程

（表の見方）
1　「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
2　「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。
評価点を示したものではなく、合計して合否を判定するわけではありません。
また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
3　「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
4　「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
5　事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。

番号	高 校 名	学　科	観点別	評価方法	調　査　書	面　接	学力検査	作　文(小論文)	実技検査	備　考
57	高　　遠	普　通		比重	60	30	10	－	－	
				項目等	学習成績と活動実績を総合的に判断する。	志望動機 自己ＰＲ 意欲 態度				